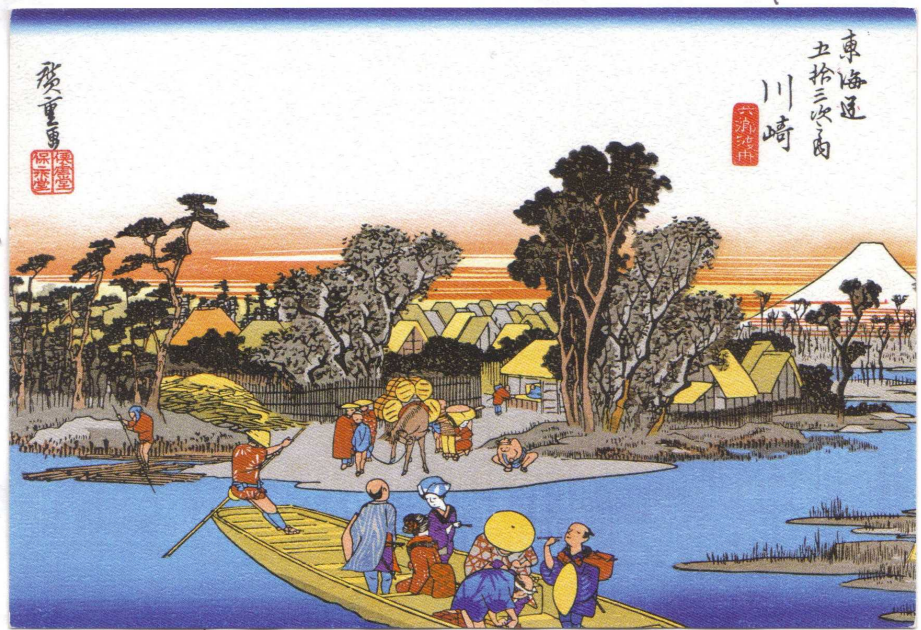


東海道五十三次
江より一番目の宿
川崎宿 かわさき

川崎宿は街道をのぼる旅人の昼食休憩の地として、大なる旅人には六郷の渡しをひかえた最後の宿泊地として知られた。
六郷の絵は六郷の渡し場で、現在多摩川にかかる新六郷橋の付近である。いまでは現代的なビル群に変わっている。

名物うまもりの久寿餅、140年の天保井筒より川崎大師の門前で売られていた。東京の龜田天神池上本門寺にはなぶくずもちの名産地。

文久の年(1862)薩摩藩主、島津久光の行列がこの生麦に遭いかつたとき、行列を横切ったイギリス人を殺傷した「生麦事件」



宿場は久松崎新宿砂子、小土呂の血町で構成され、いた砂子はいまでも地名として残っている。この宿場には、そと総合案内板や道標が新設され、陳跡、潜屋、場所などの説明がある。砂子あたりは賑わっている。



▲ 今も賑わう砂子周辺

▲ 生麦事件の碑